

株式会社 再春館製薬所 健康白書 2023年度

Saishunkan Pharmaceutical Co.,Ltd. Health and Wellbeing Report 2023



発行：株式会社再春館製薬所 総務部

再春館製薬所の健康経営とは

私たちは、再春館製薬所の継続的発展と安定のために「ありたい姿」という
目指すべき目標、普遍的な理念を掲げています。

それは「お客様の幸福」「社員の幸福」「社員家族の幸福」「協力者の幸福」「地域と地球の幸福」に関係する
すべての幸せが循環しつづける状態であり続けることです。

私たちはこれらが協力し合い、支え合いながら進んでいく姿を「幸福列車」と呼んでいます。

私たちでなければ実現できない商品やサービスによる応援を通して、
お客様は身体も心の悩みも気にすることがなくなり、いつまでもいきいきと自分らしく生活されています。

社内では、成長し続けることを喜びとする社員たちが、
いきいきと伸び伸びと自発的に沢山のお客様の喜びを生み出しています。

社員自らがいきいきと働くことが、大切なお客様への幸せにつながり、
支え合う家族、協力者、地域の幸せにもつながっていきます。

この「幸福列車」が永遠に走り続けること（サイクルが回り続けること）ができるよう努めることが、
私たちの願いであり、使命であると考えています。

再春館製薬所の健康宣言

再春館製薬所は「お客様のご満足を追求し、末永いお付き合いをいただく」ために社員が心身ともに健全でイキイキと働ける会社を目指しており、社員満足の向上と社員の心身の健康増進を図ることが不可欠であると考え、継続的に取り組み、推進していきます。

社員満足の向上と社員の心身の健康増進のための基本方針
社員の心身の健康増進を図ることで、やりがいのある職場環境づくりを継続的に行います。

私たちは、お客様のイキイキ人生を応援する企業として、人々の健やかな暮らしに貢献します。

私たちは、健康経営の実践として、社内コミュニケーションの質の向上や、社員が健康に働くための環境整備に取り組みます。

私たちは、自身の能力を十分に発揮するには健康が基本であることを自覚し、主体的に健康増進・疾病予防に取り組みます。

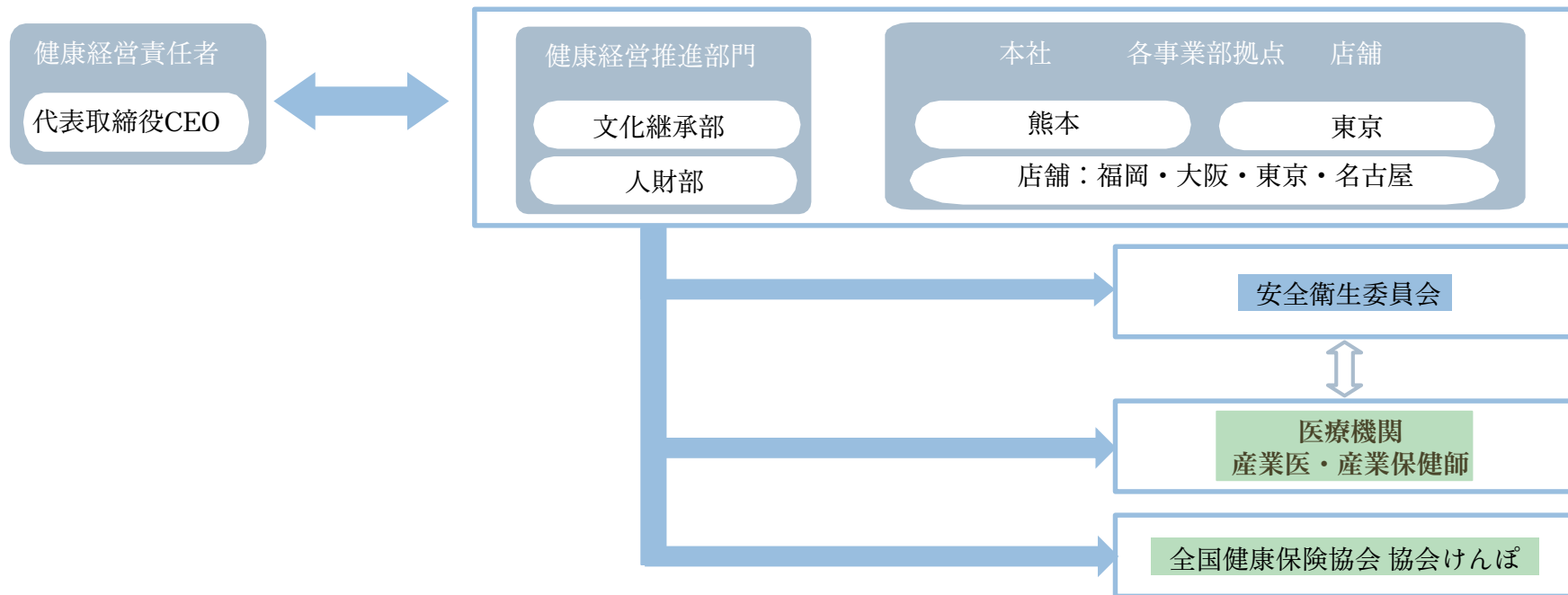
私たちは、多様な人財がライフスタイルに合わせた仕事とプライベートの両立ができるような支援を行っていきます。

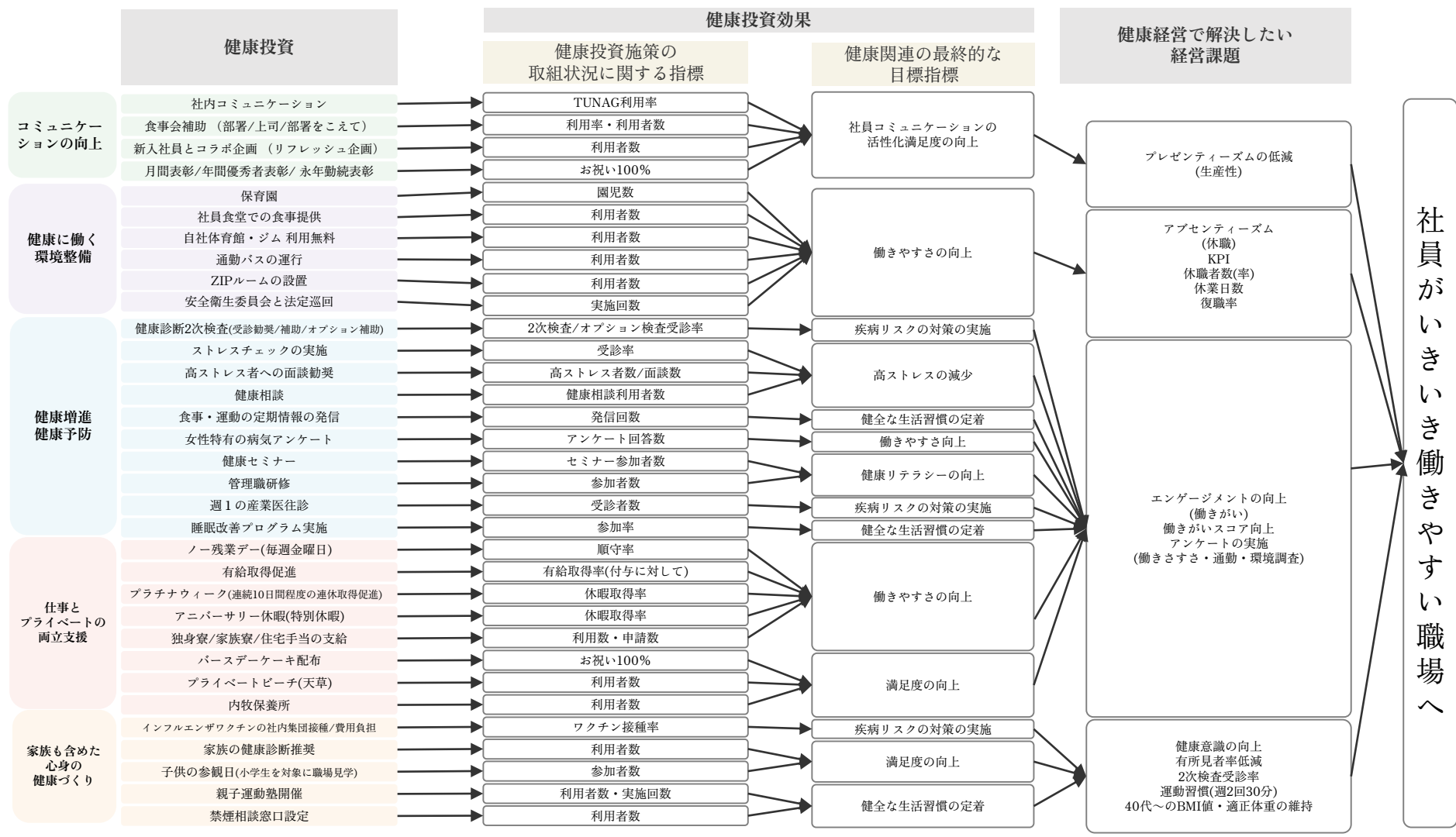
私たちは、社会の一員として家族も含めた心と身体健康づくりに積極的に参加し、その輪を広げるように努めます。

株式会社再春館製薬所
代表取締役CEO 西川 正明



健康経営に関わる組織図





項目	2021年	2022年	2023年	2025年目標
健康診断受診率	100	100	100	100%
有所見者率	72.7	70.7	72.4	50%
2次検査受診率	30.2	50.8	72.1	100%
喫煙率	12.9	12.1	13.0	10%
運動習慣定着率（1回30分運動を週2回）	13.8	16.4	18.0	40%
ストレスチェック受診率	93.9	96.4	99.6	100%
ストレスチェックによる高ストレス者率	15.3	10.2	10.8	5%
プレゼンティーズム（東京大学1問方式）	—	70.8%	74.9%	80%以上
アブセンティーズム（休職者数）	38名	22名	33名	30名以下
平均勤続年数	9.5年	10.5年	11.6年	12年
ワークエンゲージメント ※1 2022年度まで外部ツールにて測定、2023年度よりユトレヒトにて測定	48.70%	49.50%	3.3	3.5
年間平均残業時間	5.8時間	2.7時間	3.4時間	—
法定外労働42時間以上発生人数	21名	28名	27名	—
女性特有健診受診率：乳がん	86.40%	79.70%	83.70%	100%
女性特有健診受診率：子宮がん	67.00%	65.70%	65.70%	100%
年次休暇取得率（法定5日以上取得）	97%	96%	94%	100%
精密検査受診率	35.0%	54.3%	75.0%	100%
適正体重維持者率	68.6%	68.0%	66.3%	70%
社内SNSの定着率（TUNAG）	75%	83%	87%	100%
自社体育館・（ジム利用者数）件数	52件	127件	345件	500件
アニバーサリー休暇取得率	—	99.5%	96.5%	100%
男性社員の育休取得率（連続1ヵ月取得）	55%	75%	83%	100%

社員がいきいき働くために

社員が健康でいきいきと働くためには、日常からの職場環境づくりに加えて、業務を一步離れたときの何気ないサポートとコミュニケーションが大切だと私たちは考えています。

取り組み事例

手作りでバランスのとれた食事を提供（社員食堂厨房）



1 家庭的なバランスの取れた食事を

社員の健康を考えた家庭料理(母親の味)をコンセプトに、自社で社員食堂を運営し、すべてが手作りというこだわりをもって提供しています。食事のメニューは日替わり定食形式で定額制にしています。

社員食堂は外食やコンビニ食の機会を減らし、生活習慣病などの病気のリスクを防ぐことにもつながります。

2 栄養素の見える化で栄養への意識の向上

バイキング形式で好きなものを好きな量だけとれるからこそ、栄養が見える化して、バランスのいい食事を取る意識を持ってもらう取り組みをしています。

3 地産地消と食材ロス削減

食材は、地元食材を中心に、海、山、根、葉、茎の物を毎日取り入れることで、バランスの取れたメニューを提供しています。また、全社的に「もったいない」を合言葉に、日々のメニュー調整や野菜の皮や茎の固い部分で出汁をとるなど、最後まで使い切る。食材のロスを極限までなくすことも意識しています。

4 食べられる分だけ、食べ残し0

主菜は大小を選ぶことができ、副菜はバイキング形式にして、自身の体調に合わせ、食べる量を調整することもできるようにしています。

社員のプライベートの充実

社員同士はもちろん家族や友人等とリフレッシュやリラクゼーションを促進するための福利厚生施設を完備しています。

天草研修所

美しい景観と豊かな自然に恵まれた天草のビーチは、7月から8月末まで期間にわたり開放されます。施設にはシャワーやトイレ、更衣室、BBQセット、遊具などが完備され、快適に過ごすことができます。



内牧研修所

阿蘇市の内牧温泉は良質で豊富な湯量を誇る温泉地として知られており、その魅力的な環境の中に研修所があります。ここでは豊かな自然に囲まれたリラックスした雰囲気の中で研修を行うことができるだけでなく、プライベートでの宿泊もできます。



食事・運動・睡眠に関する取組み

1 社員手作りの卓上ボードで情報発信

毎月1回、社員が手作りで作成した食事、運動、睡眠に関する情報を社員食堂の全テーブルに設置して情報発信しています。

敢えてアナログ展開することで視覚的に目立ち、日常的に目にすることで自然と関心を引くことや食事中的話題作りに繋がっています。



2 睡眠改善プログラムの実施

全体の視点で身体のバランスを整え、睡眠の質を向上させるために無料の施術会を実施。整体による体の歪みや不調を解消し、リラックスした状態を促進することで、自然な睡眠習慣をサポート。

多くの方が快適な睡眠を実現し、日常生活の質を高める効果がありました。

3 親子運動塾の実施

親子で一緒に楽しく体を動かし、健康づくりを学ぶためのプログラムです。

一緒に体を動かしながら、健康で楽しい時間を過ごすことができます。

専門のインストラクターが指導するさまざまな運動やアクティビティを通じて、親子で運動能力の向上と健全な成長を目指します。



社員のいきいきのための福利厚生

自然の中で豊かな成長を

敷地内の社員専用保育園

家族が安心して働けるように、本社敷地内に従業員専用保育園があります。待機児童の心配もなく、保育士がしっかりケアしてくれています。週末の学童保育も受け入れているので、小学校低学年でも安心です。



通勤時のストレス解消

自社専用車両（バス）で社員送迎

再春館製薬所の所在地である益城町への公共交通機関へのアクセスは少し不便です。電車も近くのバス停也没有ありません。社員寮に住む若い社員や免許を持っていない、車を持っていない社員の為に運転手を雇用して、自社で通勤バスを運行しています。GPSを使ったシステムでバス運行状況のモニタリングもでき、安心して通勤することができます。



社員がいきいき働くために

休憩スペースの設置と有効活用

1 ZIPルーム（仮眠室）の設置

社員の健康を守り、業務効率を向上させるためオフィス内に仮眠室を設置しております。短時間の仮眠は疲労回復やストレス軽減を実現し、集中力や生産性を高める効果が期待されます。



2 休憩スペースの有効活用でコミュニケーション向上

コンビニ自販機を設置し、業務中に外出することなく、時間を気にせず利用できることから、休憩室でのコミュニケーションの活性化にもつながっています。



3 休憩所でアイスの無料提供や社内イベントを実施

月に1回「リフレッシュの日」を設定し、アイスやドリンクを無料で提供しています。自席を離れた休憩はコミュニケーションの活性化も図れます。また、年に1度、新入社員が企画から実行までを行う社内イベントもあり、部署を超えた交流が実現できています。



職場環境改善（製造部門）

1 パレタイズロボットの導入

作業現場からは重量物運搬や繰り返し作業などでの負荷の低減について要望が多く、重筋作業と積付け時の無理な姿勢から腰痛リスクが発生していました。

製品が入ったコンテナをパレットへ積み付ける作業を、協働ロボットを用いたパレタイズ装置を導入することで作業を自動化し、重量物の運搬作業による身体的負荷、ケガのリスクの軽減ができませんでした。

また、永く働きやすい環境を実現し、安定生産を続ける事にもつながっています。

事例

対象1ラインにおいて、製品が入った12kgのコンテナを運搬・積付け動作を1日約420回行っていた作業を自動化でき、重筋作業を低減できた。



2 ファンコイルユニットの洗浄

カビの発生や、労災リスクから自社で洗浄を行ってきたファンコイルユニットの洗浄を、外注することでより衛生的な職場環境を維持することができ。

化粧品包装室の空調機（ファンコイルユニット）の機内洗浄をかけた。中性能フィルターもすべて新品へ入れ替えた。空調機内部を清潔な状態で保つことができています。

敷地内併設の体育館と健康経営

自社体育館「サクラリーナ」(CIRCLARENA)

「サークル(CIRCLE)：輪/和/仲間」「アリーナ(ARENA)：競技場/活動の場」から連想し、社員がいきいきと働くためのコミュニケーションの場所、バドミントン部が世界で勝つ力をつける活動の場所としての想いが込められています。

1 無料でジムやアリーナの利用が可能。運動の習慣化促進

自社バドミントン部の活動拠点でありながら、終業後は運動を楽しむことで、心身のリフレッシュをしてほしいという想いから無料で社員に提供しています。2階はジムとフィットネスができる多目的エリア。1階は競技フロア（予約制）



2 フィットネス(ZUMBA)を定期開催

インストラクターの資格を持つ社員によるフィットネスも定期的に開催しています。開催は月4回、1回1時間で参加費は無料で実施しています。(2023年度実績：のべ164名) 開催スケジュールは社内SNSで定期的に告知し、誰でも気軽に参加することができます。



3 エコ空調で年中快適な運動環境

競技エリアは「放射」「吸熱」による輻射熱(遠赤外線)の特性を活かした風の出ない空調を導入。年間を通して気候に左右されることのない運動のしやすい環境にすることで、運動へのモチベーションの低下を抑えることができ、運動の習慣化が期待できます。

社内SNSツールを活用した健康への意識向上

社内で活用しているSNSツールで、健康に関する情報発信や健康診断の受診項目のお知らせをしています。

動画や画像を載せることで情報量が多い項目もなるべく分かりやすく

発信することができ社員からのリアクションも意識向上につながっています。

1 健康への意識向上

健康診断の受診項目とオプションを分かりやすく発信することで、自身の健康状態についてより興味を持ってもらい、健康への意識向上につなげています。

また、ストレッチ前には、自身のメンタル状況把握の重要性、その後のケア方法を知ってもらうための、産業医保健師によるメンタルヘルス研修動画を発信することで、安心して受診してもらう環境を整えています。



▲健康診断受診項目、
オプション項目発信内容

▲産業保健師による
メンタルヘルス研修動画

2 月に一度の安全衛生委員会からの発信

毎月季節ごとに起こりうる健康障害を提携病院と連携し、注意してほしい点をまとめ社内SNSにて発信しています。

例

7月 熱中症に注意

8月 生活習慣病予防と特定保健指導

9月 不規則勤務者の健康管理について 等



▲健康だより

健康経営優良法人2025 認定

再春館製薬所は、2025年3月に経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に認定されました。

「健康経営優良法人認定制度」とは、

社員の健康について経営的な視点で考える「健康経営」に取り組む優良な法人を顕彰する制度です。

社員が心身ともに健全でイキイキと働く事のできる会社づくりをすることが、

お客様への満足、更には末永いお付き合いづくりに欠かせないものであると信じて、

私たちは今後も、社員の満足向上と心身の健康増進への取り組みを継続的かつ、積極的に推進してまいります。



全国健康保険協会(協会けんぽ)熊本支部の認定制度

ヘルスター健康宣言を行っている事業所を対象とした認定制度。

2年に1度、ヘルスター健康宣言を実践している事業所を対象に自社の健康経営の取り組みの効果測定の1つとして

1つ星から3つ星の認定証が与えられます。



ヘルスター認定2021は令和2年度（2020年度）の次2つの評価項目で認定をされています。

- ①「健診スコア」...40歳以上の被保険者の健診結果を点数化したもの
- ②「取り組み状況スコア」...健康経営の取り組み状況チェックシートを点数化したもの

その他 認定・表彰

2017年 くまもとブライト企業認定（熊本県）

2018年 くるみんマーク取得

社員が仕事と子育てを両立できるための子育て支援を積極的に行う企業として、次世代育成支援対策推進法に基づき、厚生労働大臣(熊本労働局長委任)より2018年7月10日付で認定を受け、子育てサポート企業としての認定マーク（愛称：くるみん）を取得いたしました。



2019年 くまもとブライト企業賞受賞

2019年に「育児中の女性が長く活躍できる環境づくり」や「障がい者・外国籍人材の積極採用」などが評価され「多様な人材の活躍推進部門」でくまもとブライト企業賞を受賞しました。

2021年 熊本県SDGs登録事業者登録（3年間有効）



熊本県SDGs登録事業者マーク
©2021熊本県くまモン

2023年 くまもとブライト企業認定（熊本県）

熊本県内の企業で働く従業員が、いきいきと働き続けられるよう、労働環境や処遇の向上を推進するとともに、従業員から見た企業の魅力づくりを通じて、県民の県内就職促進を図ろうとする熊本県の取り組みの一つです。



©2010熊本県くまモン

健康で働き続けられることを目指して

社員がいきいきと長く働き続けられるように、傷病時の両立支援については産業医と連携を取り、全社的に継続的なサポートを行っています。



1 病気からの職場復帰する場合

症状や個人に寄り添った支援や対応を重視。
治療を優先して仕事との両立ができるように、ならし出社、時短勤務、時間変更など個別対応を行っています。
本人と面談の上、個別の対応を実施、できるだけ元々所属していた職場への復帰を目指します。

2 診療所開設（1回/週）

毎週水曜日に社内で産業医から診療を受けることができます。
生活習慣病から日頃の身体の不調まで、幅広く受診することができます。服薬処方や健康指導をしてもらえます。
専門の科へ受診できるように紹介状を書いてもらったり、検査結果の受け取りと医療行為ができるため、病気を抱えながらも気軽に相談できる仕組みがあります。

3 定期面談(社員本人)

傷病から復帰した社員の定期面談によるケア。
安心感、モチベーションの向上。
症状により、本人の体調と業務負荷を考慮した職場移動も実施しています。

4 業務継続支援（社員本人）

主治医と産業医が情報共有をしながら、業務継続の支援をしています。
産業理学療法士・産業保健師も協力して病状の管理、日常生活の支援を行います。

5 保健師面談（健康相談窓口の設置）

産業医や医師の医療面の支援以外に、精神的社会的な問題に関して、相談の窓口を設けています。
あえて職場ではない外部の産業保健師に依頼することで、話しやすい環境を作っています。

Ladies support 女性の健康をまもる取り組み

子宮がん・乳がん検診受診率を上げる取り組みを2017年から実施。
2018年から風疹の抗体価検査と予防接種ができるような取り組みを実施しており、継続しています。

女性が受けやすい様な健診等の仕組みを構築

1 子宮がん検診・乳がん検診

社内で受診でき、女性医師や女性技師による受けやすい体制作りを行うことにより、受診しやすい環境を作っています。

2 尿検査・便検査

月経を避けて検査を提出できるように提出期間を延長したり、工夫をしています。

3 女性のための取り組み

女性特有の病気の理解を全社的に深めるため、情報や解決方法、受診先病院等を発信。
アンケートを社内の女性を対象に実施し、女性特有の福利厚生を充実させる取り組みをしています。

4 風疹感染予防

産業医往診時に希望者に抗体価検査の実施。
予防接種が必要なものに関しては予防接種の実施。
いずれも県や市町村の補助が受けられるよう支援しています。

5 2次検査が社内で受けられます

毎週水曜日の診療の際、婦人科健診の結果で不安を感じたり、どのように動いていいかわからない場合に女性医師が相談に乗っており、必要な場合は婦人科へ紹介状を書いています。

6 女性へ向けてのYouTube配信

月経痛や妊娠出産に関わる内容の運動サポートをしています。



働く女性の健康支援

私たちは、健康経営の質をさらに高めるためには
会社が女性の健康についてもっと重要視していく事が大切と考えます。
全従業員のうち、女性の人数が80%以上を占める弊社にとって、
女性の健康に対する取り組みを増やすことは、会社の活性化につながります。

健康経営を通じて女性の健康課題に対応し、女性が働きやすい社会環境の整備を進めることが、
生産性の向上や会社の成長に結びつきます。

2023年度の新しい取組

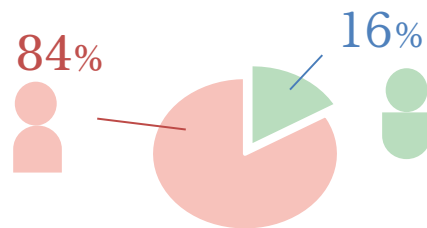
1 生理用品の設置

女性を対象にアンケートを実施した際に声が多かった、
もしもの時のための生理用ナプキンを女性トイレに設置し、
女性が働きやすい環境づくりを行いました。

2 「デリケートゾーン専用」ソープの特別社員販売

グループ会社から発売されている、デリケートゾーンに特化した
商品を試しやすい価格で販売し、デリケートゾーンケアの大切さ
を知ってもらうきっかけづくりを行いました。

従業員の男女割合



※2023年4月時点